



熱く 温かく

裾野市立東中学校だより 令和7年3月19日(水)

〈校訓〉 自主 ~誠実・清純・勤勉 ~
〈学校教育目標〉 未来に向かって 自分らしく 生きる人
〈キーワード〉 考える 対話する 多様性を認める

巣立ち

3月19日(水)、令和6年度第78回卒業証書授与式が温かな雰囲気の中執り行われました。保護者の皆様、地域の方々、在校生、御来賓・教職員に見送られ、3年生115名、新たな進路に向かって東中を巣立っていきました。約3年前、あどけない表情で入学してきた生徒たちは、見違えるような成長を遂げ、大人の表情をして卒業証書を受け取っていきました。「未来に向かって自分らしく」生きていくために、義務教育9年間で学んだことを次に生かしながら、幸せに生きていってほしいと思います。



解答用紙はあなたのこれからの人生～卒業式～

新たなステージに向かって

3月19日(水)、令和6年度修了式が執り行われました。1年生111名、2年生122名、見事に修了しました。式に臨む姿勢はとても素晴らしく、3年生も安心して巣立つことが出来ることでしょう。先輩から後輩へ、バトンはしっかりと渡されたと確信しています。

感動のシーン

「清掃」のことを考えさせられた感動のシーンです。下の写真は、ある生徒が廊下を拭いていたものです。はっきりと色が違うことが分かります。



きれいにすること～清掃の目的～



心磨き～廊下磨き～

清掃の目的は「きれいにする」ことです。この生徒の行いは、まさに見ているこちらの心もきれいになるようなものでした。今、日本を訪れる外国人のほとんどが、日本の「きれい」に感動しているようです。それは、小中学校での「清掃」活動の賜物だと言われています。他にも、電車待ち等で

整然と並んだり、街や施設等でも騒々しくなく落ち着いた行動をとったりする

日本人は世界から称賛されています。そのことも、義務教育で学んだ成果だと言われています。これらの「規律性」をこれからも大切にしてほしいと思います。

楽しいCS(コミュニティ・スクール)

「とにかく楽しそう」・文部科学省CSマイスターでいらっしゃる井上尚子さんがおっしゃった言葉です。井上さんは、3月5日(水)18:00から本校図書室で行われましたCSの学校運営協議会を視察にいらっしゃったのですが、どうやら楽しそうな会の雰囲気に感動した様子でした。本校にCSが発足した時の合言葉が「楽しむ」と「生徒たちのために」でした。CSのおかげで、校則の見直し、肝試し、地域参観会等、数々の模様し物等が実現したり、支援を頂いたりしました。そして、改めて言います。学校運営協議会はとても楽しいです。興味のある方は学校までご連絡ください。気軽に見学していただきたいと思います。



心から一緒に楽しく～井上さんのお言葉～

アートで街を明るく

3月9日(日)、美術部によって描かれた素敵な側溝のふたが、滝頭の坂に設置されました。毎年、美術部が作成しているもので、今年は四季をテーマにしたアートで坂道が彩られました。依頼されてのものですが、地域に貢献していることをとても喜んでます。これからも、地域の力となり、貢献できる東中生であってほしいと思います。



坂道を華やかに～側溝アート～

明るい未来

3月6日(木)令和7年度前期生徒会役員立会演説会及び投票が行われました。一言で言えば「とてもすばらしい演説会・投票」でした。

まず素晴らしかったことは、候補者の演説です。とかく原稿を読み上げる演説になってしまいがちですが、自分を表現したり、会場を巻き込んだりしていました。特に、自分の「こうしたい」という思いがあふれたものになっていました。今までも、そのような傾向は見られていましたが、今回、さらにその傾向は強まったように感じました。昼の放送の「生徒会ラジオ」に見られるように、学校から与えられたものを読むのではなく、自分たちが思ったことや感じたことを表現するなど、主体性が伸びてきていることを確信しています。そのことは会の運営にも見られました。教師の動きはほぼ無く、生徒たちの手で運営されていました。



主体的と規律的～令和7年度前期生徒会選挙～

演説を聴く生徒たちの姿勢も、とても素晴らしかったと思います。一生懸命演説している仲間がいれば、その話にじっくりと耳を傾けることは、人として大切にされるべき資質です。時間を厳守し、整然と会場入りする姿は、候補者や運営者への配慮でしょう。今、再注目されています「他者への配慮」が自然と身についているような行動に、とても感激しました。今後もさらに高めてほしいものです。

先輩方から引き継いできているすばらしい面と、「主体性」をさらに伸ばし、今、世界から称賛されています「規律性」も高めていってくれそうな雰囲気を感じている演説会と投票でした。明るい未来が待っていることを確信しました。3年生も安心して卒業できるのではないのでしょうか。

先輩方から引き継いできているすばらしい面と、「主体性」をさらに伸ばし、今、世界から称賛されています「規律性」も高めていってくれそうな雰囲気を感じている演説会と投票でした。明るい未来が待っていることを確信しました。3年生も安心して卒業できるのではないのでしょうか。

スピーチコンテスト

2月8日(土)、生涯学習センターで、英語・日本語スピーチコンテストが開催されました。東中からは2名の代表者が立派なスピーチを披露しました。講評にもありましたように、スピーチの内容や表現も大切ですが、一生懸命練習し、緊張する中でスピーチを行うという体験こそが素晴らしいことであり立派であること、そして、その経験が参加者にとってかけがえのない貴重な体験になったことは間違いありません。ますます英語が好きになり、英語を生かして人生を切り拓いていってほしいと思います。



How great they are!～英語スピーチコンテスト～